

1 開発のねらい

1・1	車種構成	1-3
1・2	外形デザイン	1-4
1・3	室内デザイン	1-5
1・4	エンジン	1-6
1・5	シャシー	1-10
1・6	ボデー	1-13
1・7	新装備の設定	1-15
1・8	基本性能	1-17
1・9	新装備一覧	1-19

■はじめに

トヨタ MR2は、ミッドシップスポーツカーとして1984年6月に誕生し、真の“Fun To Drive”スポーティーパーソナルカーとして多くのお客様にご愛用いただいております。

今回のモデルチェンジに際しては、従来車から脱皮し“真のミッドシップスポーツ車”をめざして開発しました。

新型MR2は、本来のミッドシップの特徴を生かしたミッドシップらしさが見えるスタイル、本格スポーツカーに見合う性能・車格・品質のグレードアップをはかり、市場の要望への対応および競合車を凌ぐより一層の商品力を向上させました。

なお、開発に当りましては以下の点を重点に実施しました。

▶開発のテーマ

1. 外形デザイン

- ミッドシップならではのエレガントでエキサイティングなスタイル
- 空力特性にすぐれた機能と美しさが調和した先進的で高性能を表現したデザイン
- 他の競合車に勝る洗練された力強さのある造形品質

2. 室内デザイン

- シンプルで質感の高いインテリア
- 人が乗って安定感と開放感を感じさせる室内空間
- 各部操作性の徹底的な向上と触感的な造形にも配慮したデザイン

3. カラーデザイン

- 外板色には洗練された新スタイルに独自の存在感を表現できるカラーと質感の向上
- 室内色はスポーティー表現として、ダーク調を基調とし室内全体をトーンオントーン配色とし、よりハイクオリティーさを表現
- ステアリングなど機能部品をブラック化しグラスター部との一体感をはかり、よりスポーティーさを表現

4. 基本性能

- 新エンジン2.0ℓ 3S-G改, 3S-GT改の導入によりMR2のイメージリーダーエンジンとして、クラス最強レベルの性能を確保
- 「走る」「曲がる」「止まる」の基本性能を高い次元で実現させた、サスペンション・ステアリング・ブレーキ性能の向上
- フロントとリヤに異なるタイヤサイズの設定とワイドトレッド化による走行性能の向上
- NVH特性の向上をはかるボデーシールドの高剛性化、サンドイッチ制振パネルの採用など、他にエンジン部品、シャシー部品の振動・騒音への対応強化と合わせて、空力性能を向上させるフラッシュサーフェス化およびフラットフロア化などのボデー構造
- 防錆能力の向上をはかる防錆鋼板の使用拡大やアンダーコートおよびシーラー塗布の充実
- 空調装備のレベルアップやオーディオの充実および燃料タンクの容量アップ、室内やトランクスペースの拡大および物入れの新設など快適性、実用性に優れた装備としました。
- ハイレベルの音質と迫力あるサウンドを開発したオーディオの充実

5. 新機構・新装備

- EHPS(電動油圧ポンプ式パワーステアリング)、ステアリング連動フォグランプ、ストレージボックス、MR2スーパーライブサウンドシステムなど積極的な採用と豊富な気くばり装備

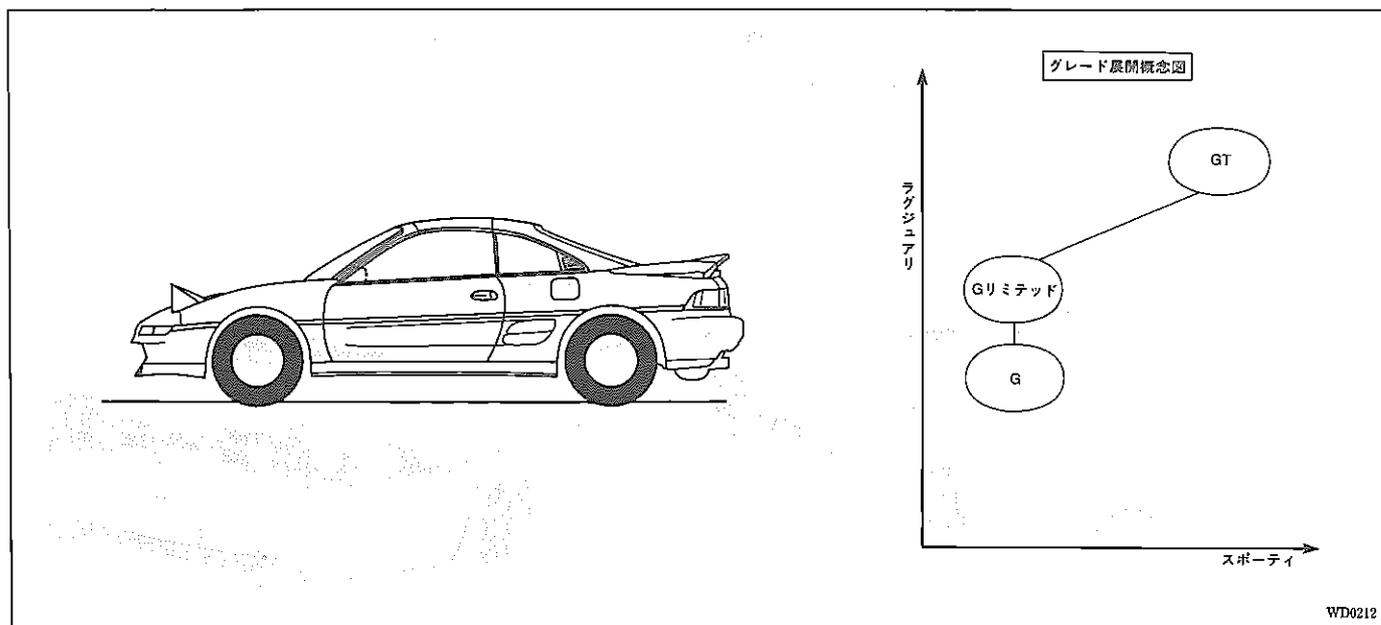
以上の様に、新型トヨタ MR2はスタイルと性能において90年代をリードできる成熟したミッドシップスポーツカーとすることで、今後ともお客様に誇りと満足を持っていただけるものと確信いたしております。

1・1

車種構成

新型MR2のボデー体系は、従来同様2ドアクーペとしTバールーフを継続設定した、本格ミッドシップスポーツカーにふさわしい全車2.0ℓツインカム16バルブの高性能スポーツエンジンを搭載しました。

グレードは、3つのグレードを設定し、イメージリーダーエンジン3S-GTE搭載車は“GT”グレードのみの設定としました。



□グレード別分類

グレード	ねらい	主な装備	2ドアクーペ	Tバールーフ	エンジン		
					3S-GE 5M/T	ECT	3S-GTE 5M/T
GT	・性能・装備ともに最高のものを追求したMR2のイメージリーダーグレード。	・4輪ABS ・リヤベンチレーテッドディスク ・ブロンズ+トップシェード付ガラス ・ターンオーバー付クラッチペダル ・タンデムブレーキプaster ・部分本革スポーツシート（エクセース）	○	○	-	-	○
Gリミテッド	・高性能、高級装備の量販グレード。	・センターキャップ（アルミ用） ・ステアリング連動フォグランプ ・アルミホイール ・スポイラー ・パワーウィンドウ & ドアロック ・電動格納式ミラー ・トップシェードガラス ・テンパー & サイドサポート ・AM/FM電子チューナーラジオ（6スピーカー） ・リヤコンソールBOX ・EHPS	○	○	○	○	-
G	・必要十分な装備をもつベースグレード。	・フロント195/60、リヤ205/60 R14タイヤ ・樹脂製フルホイールキャップ ・本革巻ステアリング ・チルト & テレスコピックステアリング ・オートエアコン ・スポーツシート ・プッシュ式ヒーコンパネル ・ストレージBOX ・AM/FM電子チューナーラジオ（4スピーカー）	○	○	○	○	-

* 主な装備項目の記載内容は、下位グレード項目を含む内容です。

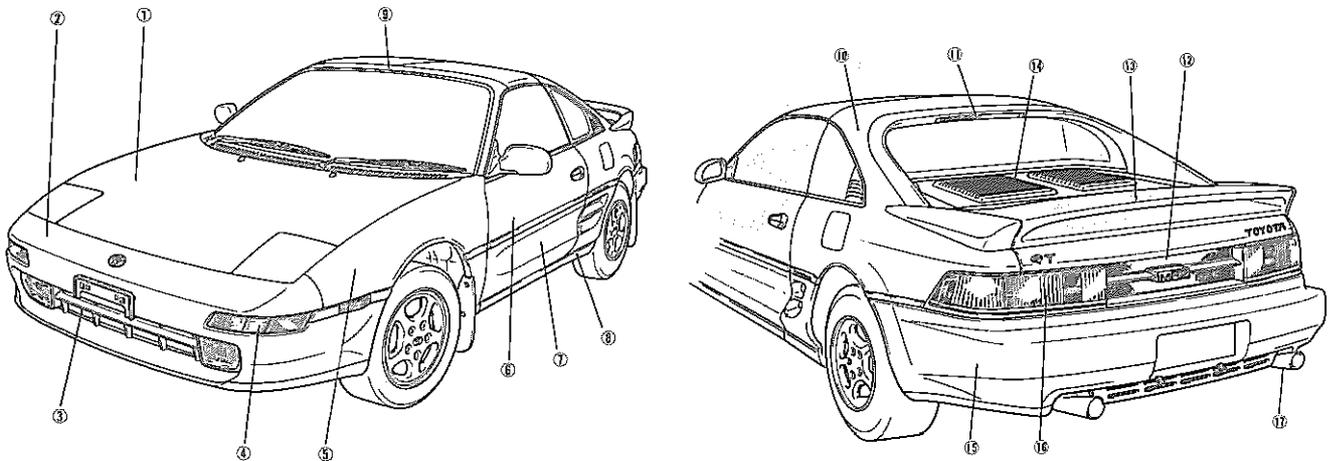
1・2

外形デザイン

先進的で完成度が高く永続性のあるミッドシップカーとして、強い存在感と美しさのあるデザインをテーマとしました。

外観全体スタイルは、“POWER SURFACE(力面形)”造形とするため、次の様な特徴を持ったスタイルとしました。

- ローノーズ、ハイデッキの動きのある大胆なウエッジシェイプ
- 大きな平面ラウンドと低重心で安定感のあるコンパクトで強い塊り
- フロントのセクシーな曲面からリヤのソリッドな曲面へダイナミックに変化する面構成
- インテグレートされたアクセサリ部品による近代的なスポーツ感のある表現

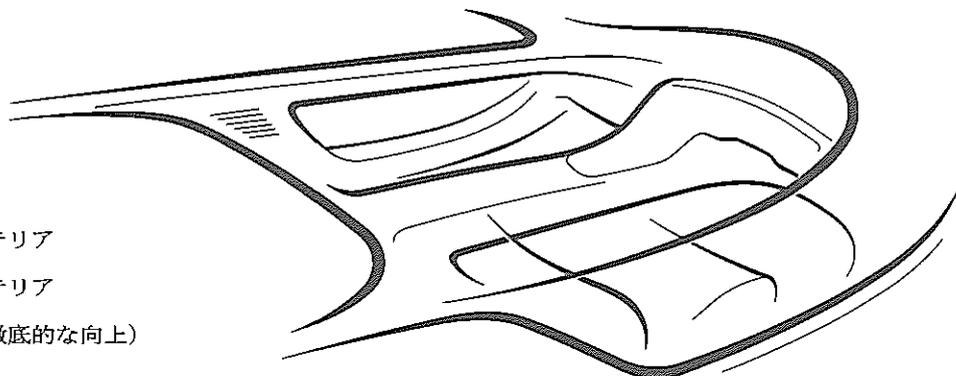


WB0101, WB0105

部 位	特 徴
フロント	<ul style="list-style-type: none"> ① 強く張り出したフェンダーを滑らかな曲面で継いだセクシーなフード ② 大きな平面ラウンドとボデーと完全面一化されたソフトフェイスパーバンパー ③ 空力処理を施し精悍な表情をしたエアインテーク ④ フロントバンパーにインテグレートされたスポーティーなターンシグナル
サイド	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 大きな平面絞りと有機的なホイールフレアを持った、力強いフロントフェンダー ⑥ 低重心で豊かなボリュームのドア断面 ⑦ 低い位置でシャープにえぐり取られた、ミッドシップを強調するエアインレット ⑧ 空力の向上と共にスタイルに躍動感を与える動きのあるロッカーパネル ⑨ 2シーターらしいコンパクトでスポーティーなキャビン ⑩ 空力的に造形した豊かな曲面のクォーターピラー
リヤ	<ul style="list-style-type: none"> ⑪ ルーフエンドに組み込まれた、スリムなLEDスリットビームストップランプ ⑫ 力強い塊り感を表現する大きな平面ラウンドのリヤエンド ⑬ 空力特性を総合的に向上させるボデーと一体感のある高性能リヤスポイラー ⑭ 高性能エンジンを表現するパワーバルジ (FRP製 GT) ⑮ 大きな平面アールと一体感をはかった外板色リヤバンパー ⑯ ワイド感のある横一文字のリヤコンビとスポーツ感を強調するセンターガーニッシュ ⑰ スポーティで高性能を強調するデュアルエキゾーストパイプ

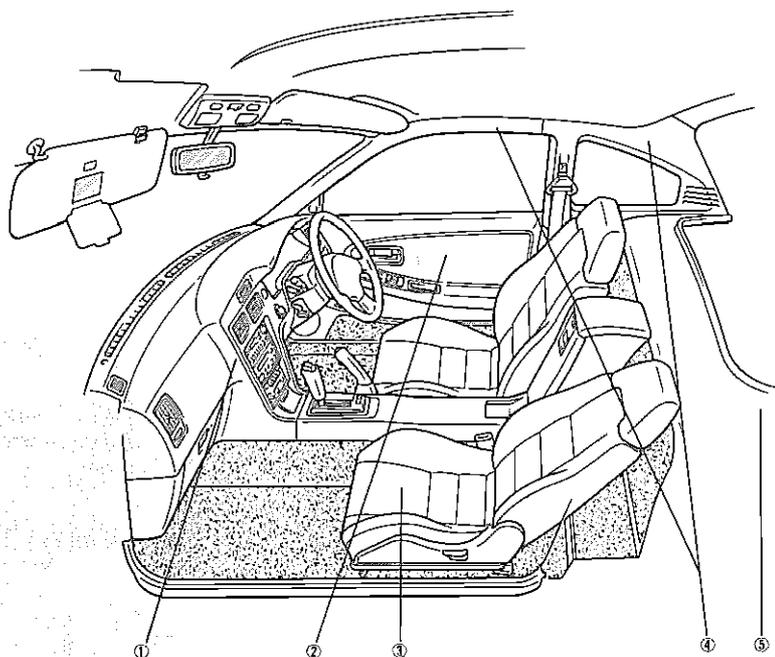
1・3 室内デザイン

スタイルコンセプト



- 大らかで一体感のあるインテリア
- 人間が乗って完成するインテリア
- 機能部品の進化（操作性の徹底的な向上）

WD0213



WB0164

特 徴

室内配色はスポーティー表現としてダーク調を基調とし、室内全体をトーンオントーン配色でハイクォリティなイメージを表現

- ① 伸びやかでスケール感のある造形のインストルメントパネル
- ② インストルメントパネルからの“しなやかな流れ”を受けたドアトリム
- ③ 運転操作を十分配慮した機能的な造形のシート
- ④ 部品単位を大きく、ガーニッシュ類の一体化と美化をはかった内張り類
- ⑤ ユティリテースペースの有効的利用および便利性の向上をはかったリヤラゲージ

1・4

エンジン

■概要

今回、生まれ変わった新型MR2にふさわしい動力性能を確保するため、従来の3A-LU, 4A-GELU, 4A-GZEエンジンに代って、新スポーツエンジン2.0ℓの3S-GE, 3S-GTEエンジンを搭載しました。

新エンジンの搭載により余裕のある走りを実現した、本格ミッドシップスポーツカーとしました。

□エンジン構成

排気量	エンジン	最高出力[ps/rpm]	最大トルク[kg・m/rpm]	特 徴
2.0ℓ	3S-GE	165/6800	19.5/4800	<ul style="list-style-type: none"> ・高回転・高出力型のスポーティーな本格的ツインカムの高性能スポーツエンジン ・ハイオク仕様、ノックコントロールセンサーの採用と吸排気系の大幅な向上
	3S-GTE	225/6000	31.0/3200	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージリーダーエンジンとしてのインタークーラー付DOHC4バルブターボ付のスポーツエンジン ・ツインエントリー式セラミックターボ、ハイオク仕様、空冷インタークーラーの採用など

□3S-GEエンジン (LASRE α 3S-II TWINCAM 16 VALVE)

●高性能スポーツエンジン『3S-GE』の性能向上

(詳細はP3-2参照)

▶内容

1. ハイオク対応および高圧縮比の採用
2. 可変吸気システムの採用
3. ステンレス製エキゾーストマニホールドの採用
4. ノックコントロールセンサーの採用
5. シリンダーヘッドのインポート形状の最適化、高リフト化対応
6. ピストンの圧縮比アップ対応
7. カムシャフトのリフトアップ対応
8. ディストリビューターの小型化
9. スロットルボデーのボールベアリング採用
10. シリンダーブロックの高剛性化
11. 各種振動・騒音対応

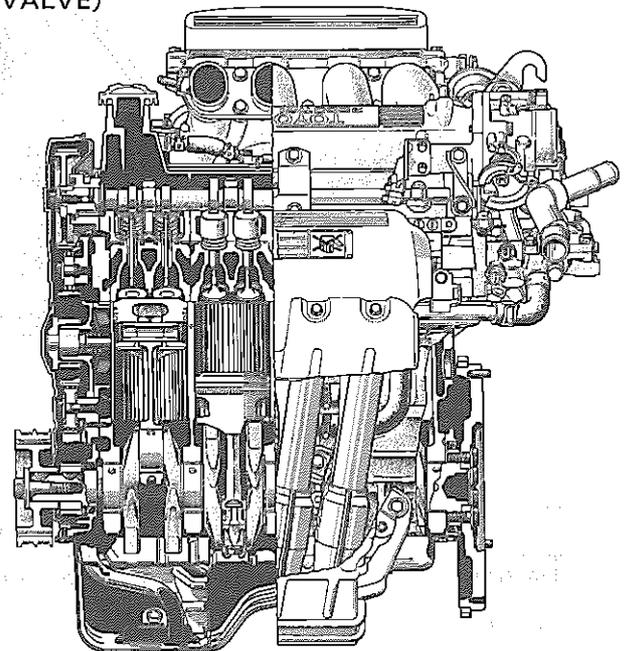
出力向上

&

燃費向上

耐振性向上

振動・騒音の低減



エンジン断面 (縦図)

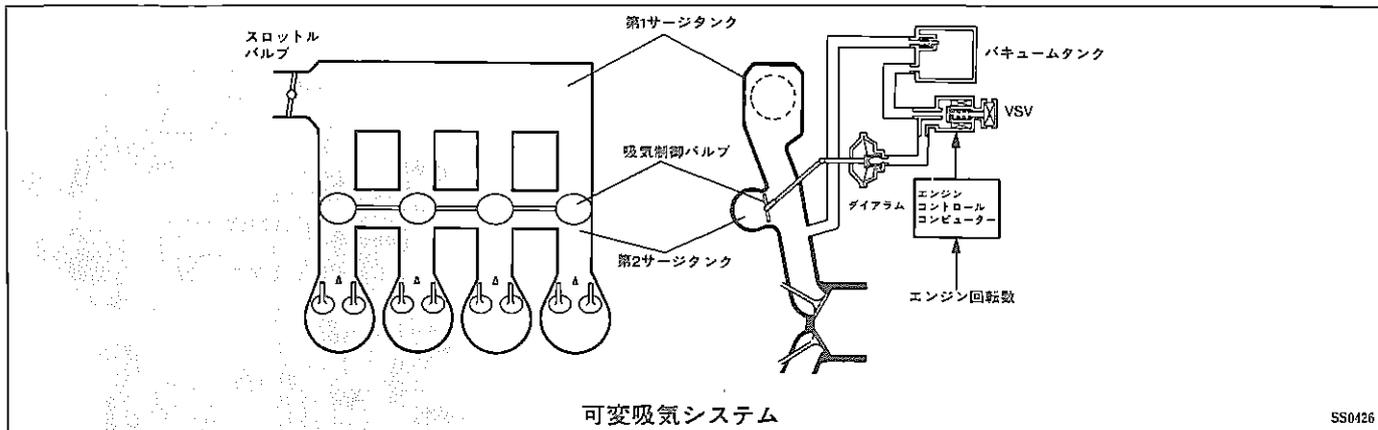
SS0527

▶可変吸気システム (ACIS-Ⅲ) (詳細はP 3-17参照)

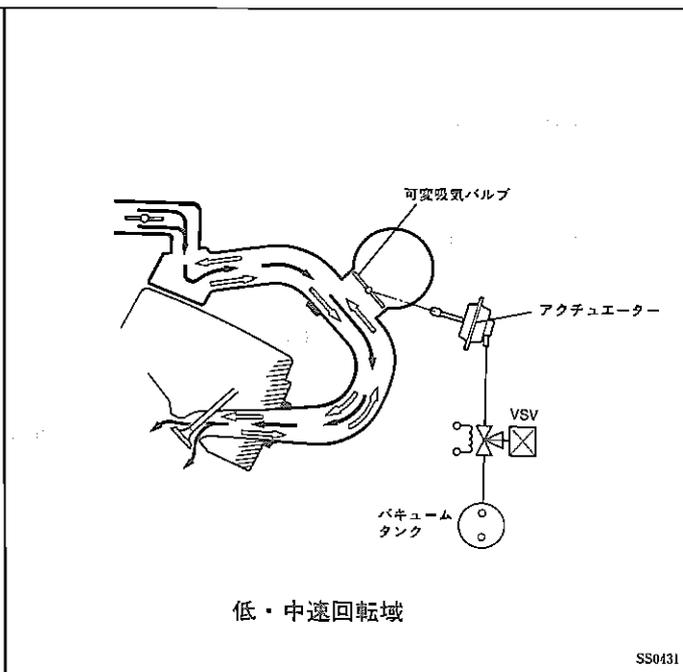
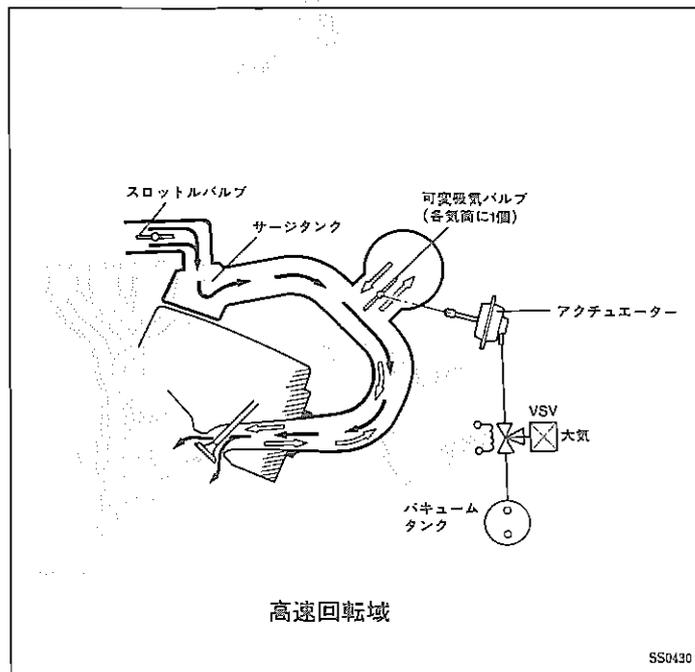
目的

低・中速域のトルク向上および高速域の出力向上

システム



作動



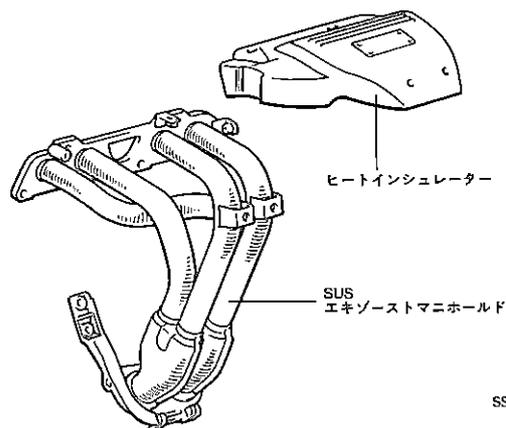
▶ステンレスパルスフローエキゾーストマニホールドの採用 (詳細はP 3-16参照)

目的

低・中速域でのトルク向上および高速燃費の向上

システム

- 各ブランチ長の等長化により、排気脈動の有効利用と充噴効率を上げ軸トルクを向上
- 材質をSUS化 (ステンレス) により、耐熱強度を向上させ高速走行時に空燃比をリーン化することで、高速時の燃費を向上



□ 3S-GTEエンジン (LASRE α 3S-II TWINCAM 16 TURBO)

● 高性能スポーツエンジン「3S-GTE」の性能向上

(詳細はP 3-41参照)

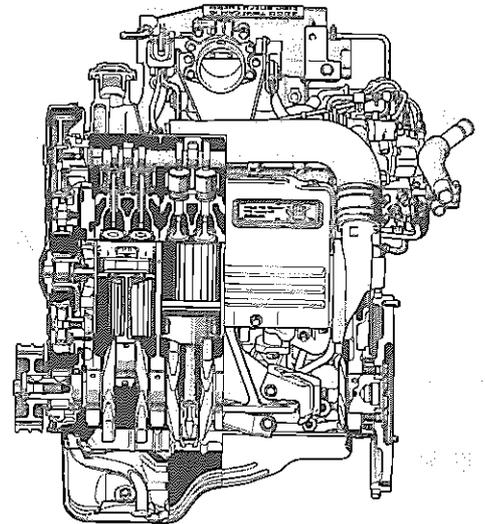
▶ 内容

1. ハイオグ対応および高圧縮比の採用
2. 空冷インタークーラーの採用
3. ツインエントリー化ターボの採用
4. セラミックタービンホイールの採用
5. メタル担体マニホールドコンバーターの採用
6. カムシャフトのリフトアップ対応
7. ピストン形状の最適化
8. エキゾーストマニホールドのデュアルポート化
9. メインインジェクターのボトムフィード化
10. スロットルボデーのボールベアリングの採用
11. 排気ガス浄化用触媒にフェライト系ステンレス製採用
12. シリンダーブロックの高剛性化
13. 各種振動・騒音対応

出力向上
&
燃費向上

耐振, 耐熱性
向上

振動・騒音の低減



縦断面

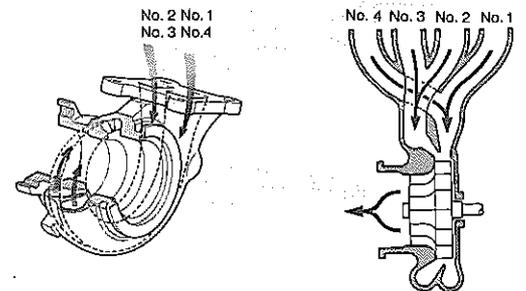
SS0560

▶ ターボチャージャーの改良

〔1〕 ツインエントリー化

特長

- ・ 他気筒からの排気干渉なく排気ガスを導き、エンジン体積効率の向上をはかる。
- ・ 排気ブローダウンエネルギーロスの低減により、低回転時のタービン回転数を上げる。

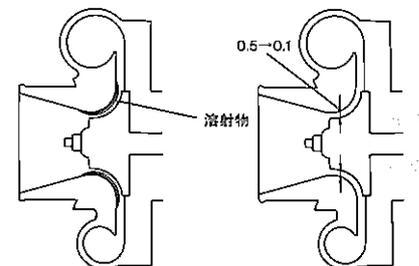


SS0488, SS0489

〔2〕 セラミックタービンホイール化

特長

- ・ 慣性重量の低減
- ・ 加速レスポンスの向上をはかる。
- ・ アブレードダブル溶射コンプレッサーによるコンプレッサー効率の向上



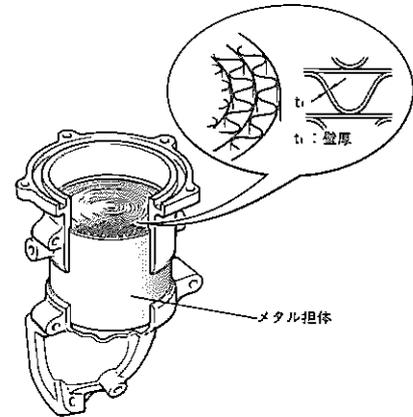
アブレードダブル溶射コンプレッサー

SS0490

▶メタル担体マニバーターの採用

特長

- ・耐熱性、耐衝撃性に優れたフェライト系ステンレス製で、
通気抵抗が小さくなり出力の向上をはかる。
- ・メタル担体の表面積を向上させ触媒容量が低減でき小型化
がはかれます。

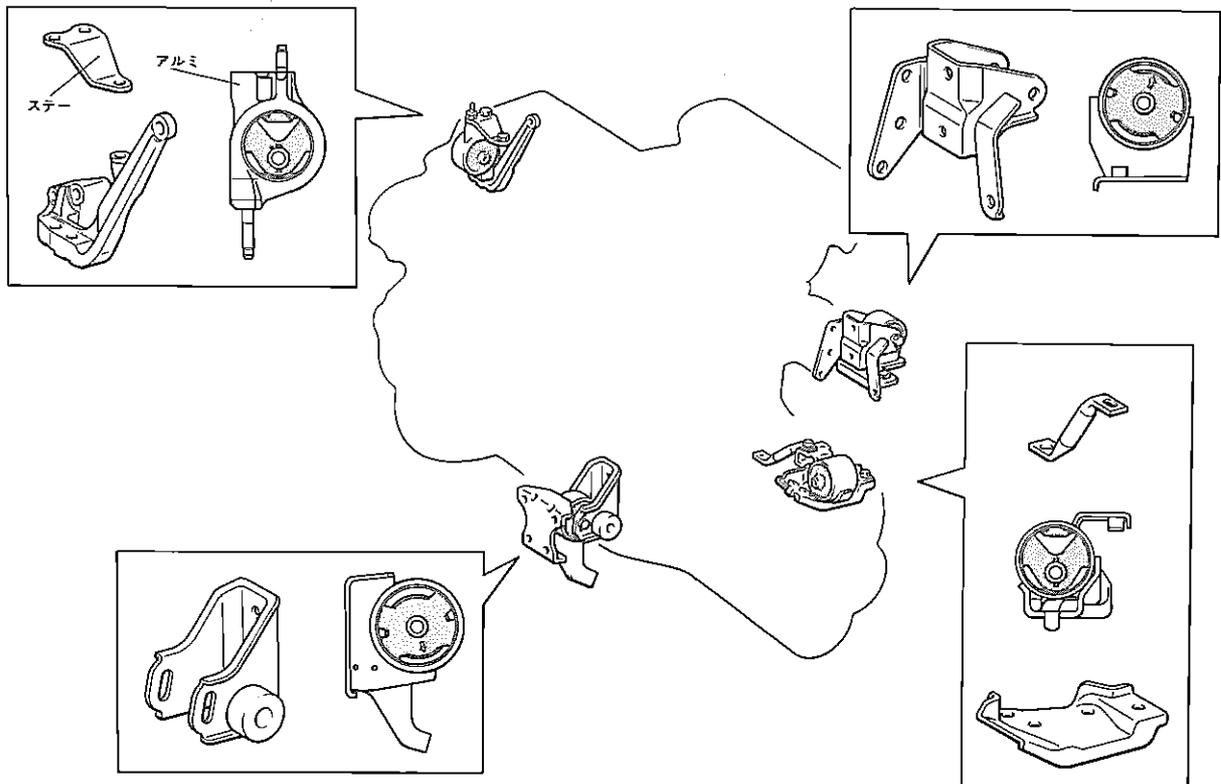


SS0581

▶エンジンマウンティングの向上（3S-GTE用）

特長

- ・マウンティング部にアルミ製を採用するなど、軽量で剛性の高いマウンティングとすることで、振動・騒音の低減をはかりました。



SS0593

1・5

シャシー

「走る」「曲がる」「止まる」の基本性能を高い次元で実現させるため、4輪ストラット式独立懸架サスペンションは、エンジン性能向上に対応した足回りとするために構成部品の配置寸法剛性など全てを新設計とし、従来タイプを踏襲しつつ高性能スポーツカーのサスペンションとして熟成させました。また、重量配分の良いミッドシップ方式を最大限に活かした、軽快かつ正確な人車一体感覚のハンドリング性能の実現および効きのよいブレーキ性能の確保などをねらいとしました。

■フロントサスペンション

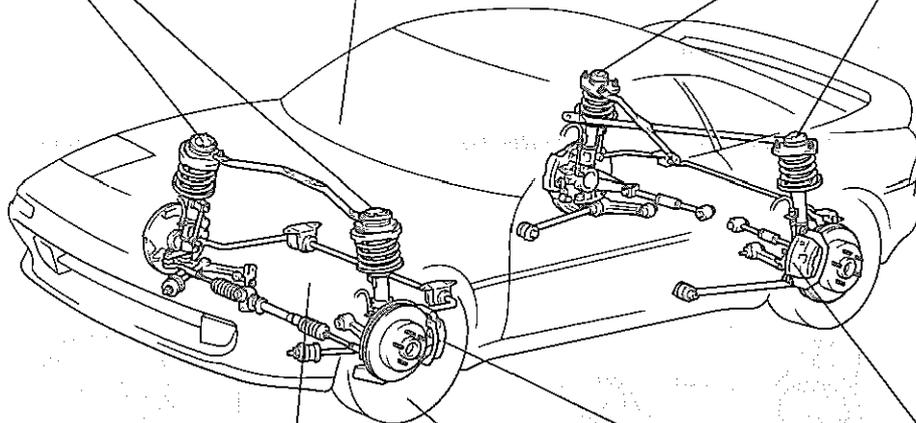
- ・ボデーシェル、シャシー部品の剛性アップ
- ・サスペンションジオメトリー、アライメントの最適化

■ステアリング

- ・EHPS(電動ポンプ油圧パワーステアリング)の設定
- ・トータルギヤ比の見直し
- ・ラック & ピニオンギヤボックスの配置直し

■リヤサスペンション

- ・ボデーシェル、シャシー部品の剛性アップ
- ・サスペンションジオメトリー、アライメントの最適化



WD0210

■クラッチ & トランスアクスル

- ・エンジンの変更によりクラッチサイズの見直し
- ・3S系エンジンに対応した新トランスアクスルの採用とベストマッチングの対応(3S-G用S54型, 3S-GT用E153型)

■タイヤ & ホイール

- ・重量配分に適したタイヤ & ホイールサイズの設定
- | | | |
|------|-----------|-----|
| フロント | 195/60R14 | 85H |
| リヤ | 205/60R14 | 87H |
- ・アルミホイールの設定(Gリミテッド, GT)

■ブレーキ

- ・4輪ABSの採用(GTに標準, 他OPT)
- ・ブレーキ性能の向上

□EHPS (エレクトロハイドロリックパワーステアリング)

新型MR2のパワーステアリングは、ミッドシップ車への装着に適したトヨタ初の“EHPS”を開発し採用しました。

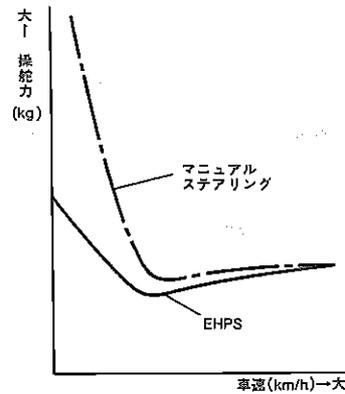
▶システム概要

EHPSは油圧ポンプの駆動を従来のエンジンに代えて電動モーターで行う新しいパワーステアリングです。

システム構成のパワーステアリングのリンクASSYは、従来通りのロータリーバルブ式を採用し、油圧ポンプを電動式にすることで、モーター回転数を制御するパワーステアリングコンピューターにより構成しています。

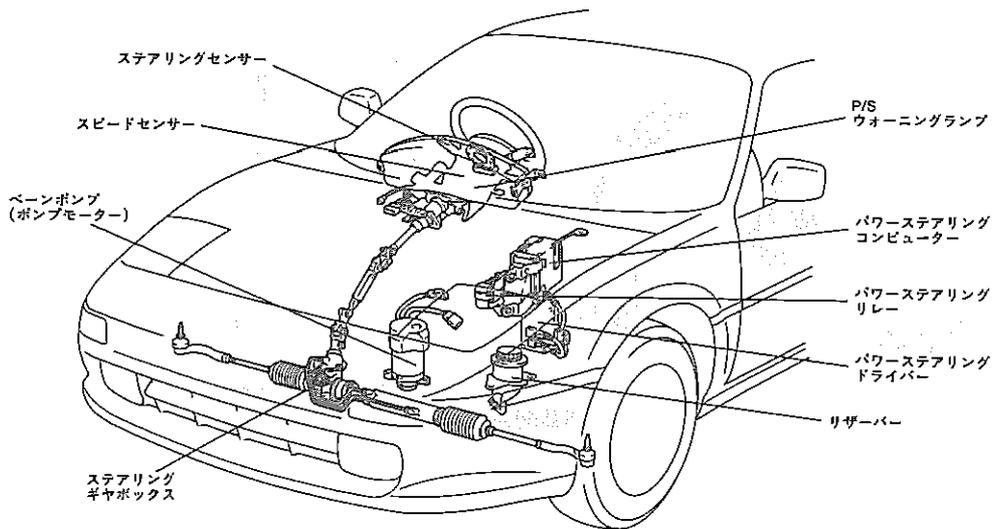
この様に油圧ポンプを電動化することで、システムをフロント側に集約することができると同時にコンピューターにより、走行状態に適したパワーステアリング特性と省エネルギーを実現するメリットを持ったシステムです。

(詳細はP2-2参照)



操舵力特性

WD0071



部品配置図

WD0073

▶作動概要

イグニッションキーがON状態の時、車両の停止時から走行時にステアリングを操作すると、舵角センサー、車速センサーなどからの信号によりコンピューターはモーターの回転数、即ちポンプ回転数（流量）を変え操作時の状況に応じた操舵力を得ることができます。

この様にステアリングの操作時と非操作時は、ポンプ回転数を変え省エネルギー化をはかったり、車両速度に応じたポンプ回転数にすることで車速感応式としました。また、高速走行時には電圧をカットし、マニュアルステアリング同様の剛性感の高いステアリングとし、停車中に非操舵が続くとポンプ回転は自動的に停止する様に制御されます。

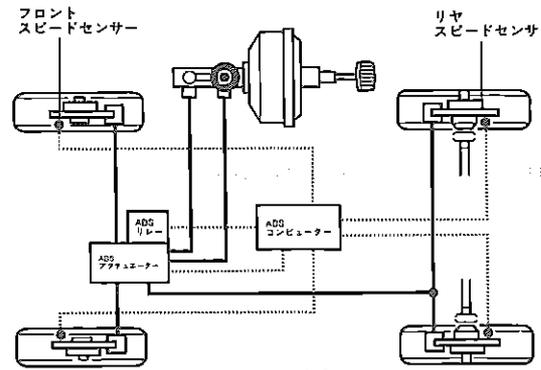
(注)：パワーステアリングオイルはEHPS専用オイル「トヨタ・パワーステアリングフルード・EH」を使用する。

□ 4 輪ABS

急制動時に 4 輪すべてのホイールシリンダー油圧を制御し、車輪のロックを防ぐことにより、車両の安定性と操縦性を向上させるブレーキシステムです。

システム異常時には、フェイルセーフが働きます。また、充実したダイアグノーシス機能により、サービス性の向上をはかりました。

4 輪ABS* は、GTに標準装備、GリミテッドおよびGにメーカーオプションとしました。

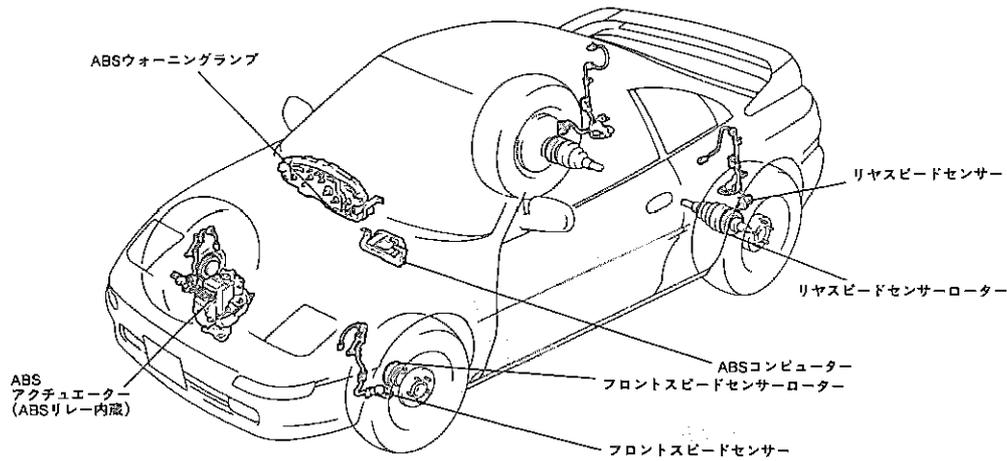


システム図

WD0096

* ABS : ^{●アンチロック}Anti-Lock ^{●ブレーキ}Braking ^{●システム}System の略

(詳細はP 2 -14参照)



部品配置

WD0097

主要構成部品と機能

構成部品		機能
スピードセンサー		4 輪それぞれの車輪速度を検出し、ABSコンピューターに入力する。
ABSウォーニングランプ		ドライバーにシステムの異常を警告する。
ABS リレー	ソレノイドリレー	ABSアクチュエーターのソレノイドバルブに電源を供給する。
	モーターリレー	ABSアクチュエーターのモーターに電源を供給する。
ABSアクチュエーター		ABSコンピューターの出力信号により、各ホイールシリンダー油圧を制御する。
ABSコンピューター		各スピードセンサーからの車輪速度信号により、路面状況に応じた制御をするようABSアクチュエーターに作動信号を出力する。 システム異常時、ABSウォーニングランプを点灯させるとともに、ABSアクチュエーターへの電源を遮断し、ABSの作動を停止する。 ダイアグノーシスモードに切り替えることにより、システムの異常箇所の診断結果を表示する。

1・6

ボデー

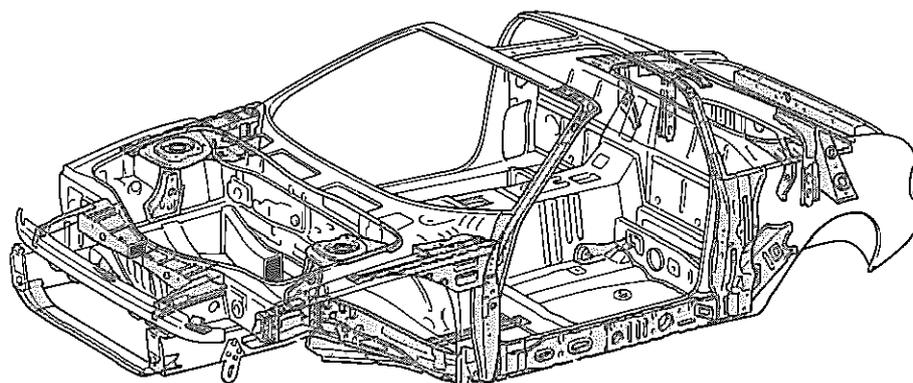
■概要

新型MR2は、本格ミッドシップスポーツカーにふさわしいボデーを創り出すため、基本から徹底的に見直し、より確かな信頼感より快適な居住空間を創り出すものとしました。

ボデーは競合車に勝る洗練された力強さのある造形品質とエンジン・サスペンション・ボデーシェルを含めた車両全体の振動・騒音・操縦性・安定性・乗り心地など、あらゆる角度から分析し高度なチューニングをはかりました。また、室内装備については、使いがっての良い便利な装備と快適性の向上をはかる空調装備や新オーディオシステムなど新機構・新装備を採用しました。

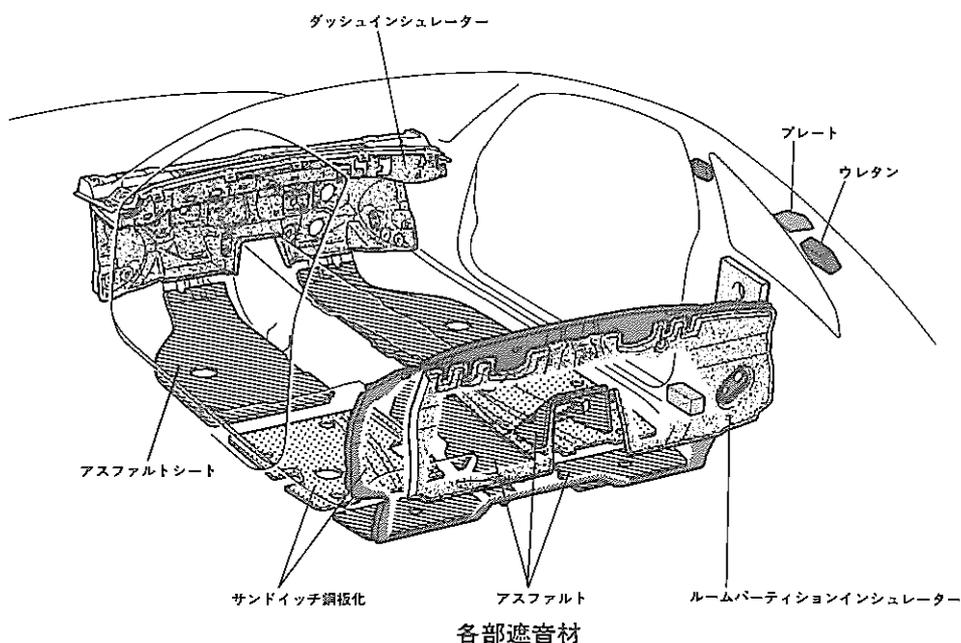
□ボデーシェル

- 軽量かつ剛性の高いシェル構成で、各部に遮音材・遮音技術を駆使したボデーシェル
- 防錆鋼板および防錆ワックスの十分な処置により、優れた防錆ボデー
- フラッシュサーフェス化を徹底的にはかったボデー形状



高剛性ボデーシェル

WB0055

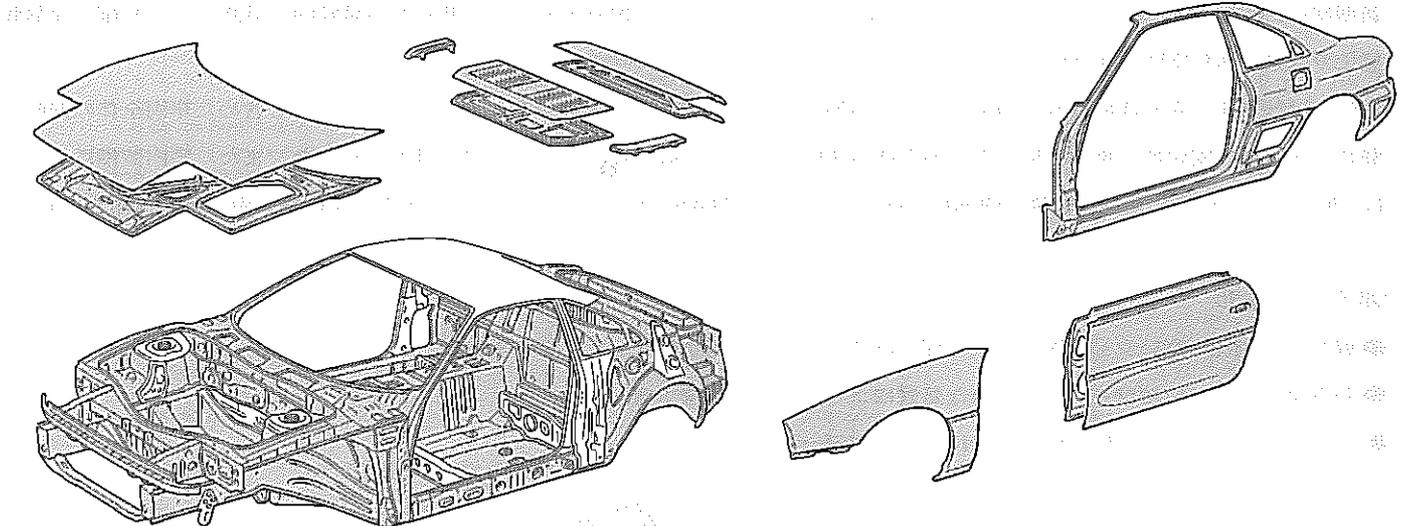


各部遮音材

WB0055

□防錆対応

防錆対策として、防錆鋼板の使用部位を指定しています。防錆鋼板は、防錆性能を向上させるために使用されています。

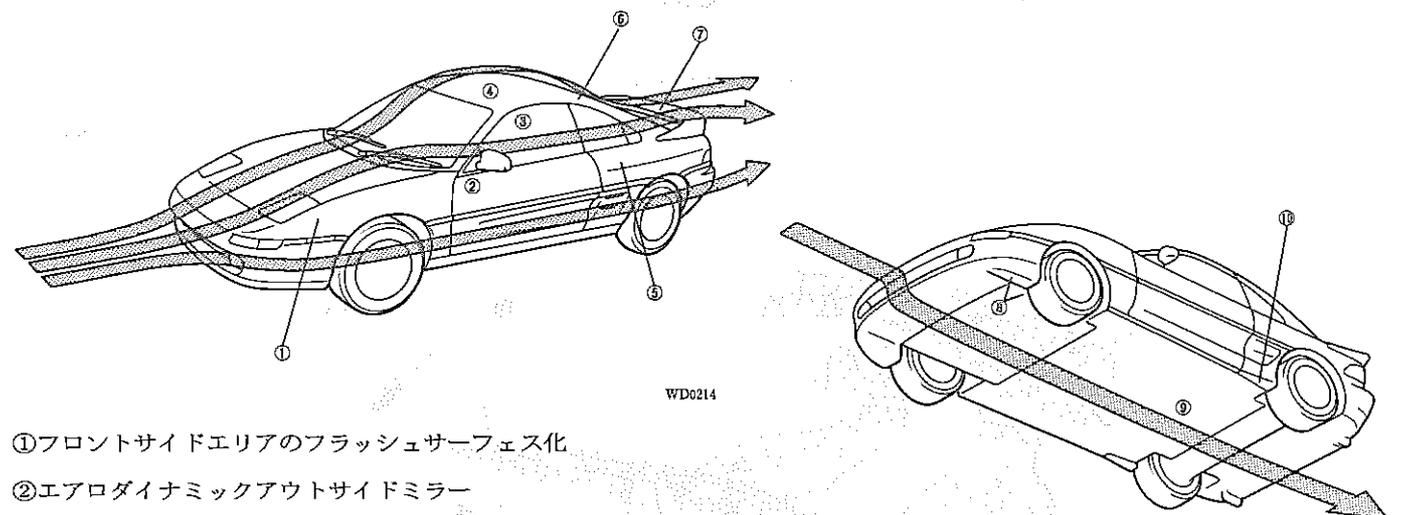


防錆鋼板使用部位

WB0075

□フラッシュサーフェス化対応

フラッシュサーフェス化対策として、フラッシュサーフェス化部位を指定しています。フラッシュサーフェス化は、表面の凹凸を減少させることで、風阻係数を低減させるために使用されています。



WD0214

WD0215

- ①フロントサイドエリアのフラッシュサーフェス化
- ②エアロダイナミックアウトサイドミラー
- ③ギャビン廻りのフラッシュサーフェス化
- ④ルーフシェイプ
- ⑤リヤサイド廻りのしぼり込み
- ⑥ねじり形状のリヤクォーターピラー
- ⑦リヤスポイラー

- ⑧フロントアンダカバーおよびスパツ
- ⑨センターアンダカバー
- ⑩リヤスパツ

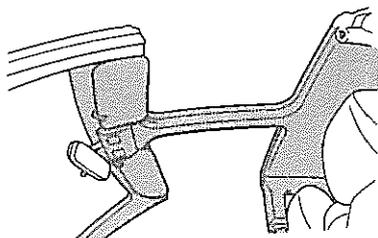
1・7

新 装 備 の 設 定

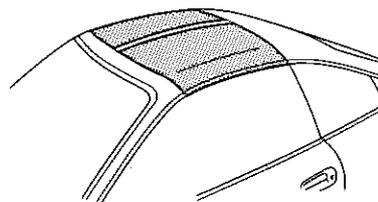
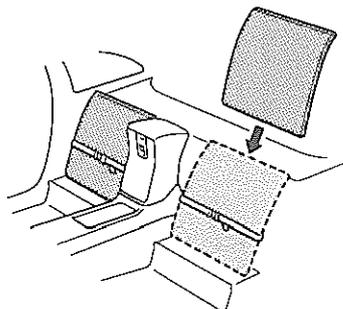
■新装備の充実

今回の開発に当っては、豊富な新装備を採用し車両の品質感や使用性・便利性を向上させた魅力的な商品としました。
その主な新装備を紹介します。

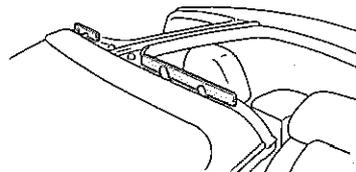
▶Tバールーフ



ガラスルーフ格納位置



エアデフレクター



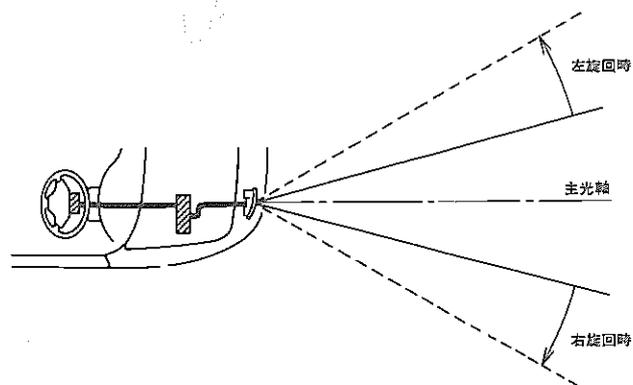
WD0216

▶ステアリング連動フォグランプ

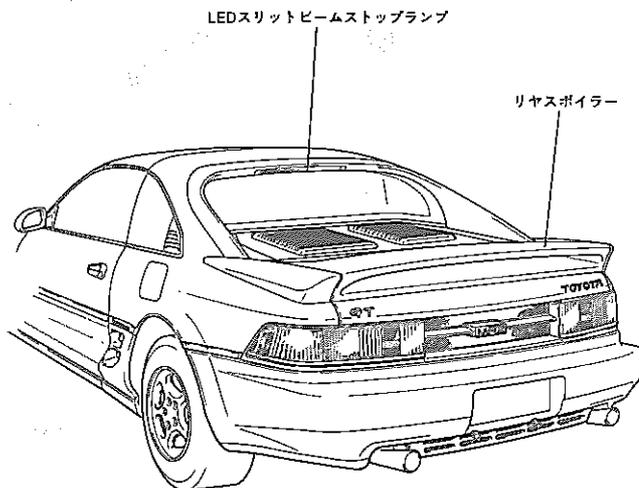
(GTに標準, G, GリミテッドにOPT)

・ステアリングの操舵角に応じて旋回方向に対し照射方向を
拡げ、走行時の視界を向上させます。

(詳細はP 2 -26参照)



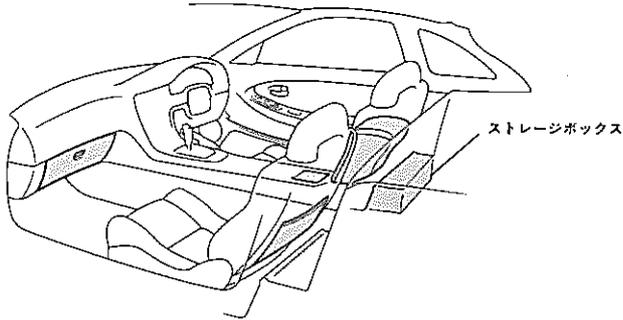
▶3ピース大型リヤスポイラー (Gリミテッド, GT) & LEDスリットビームストップランプ



WJ0194

WB0105

▶ストレージボックスなど物入れの拡大

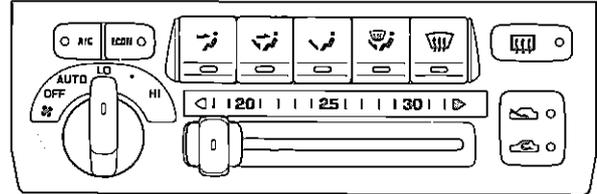


WD0218

▶オートエアコンディショナー（全車）

- ・快適性および操作性がよくオート機能を増大させた高性能マイコン制御オートエアコンです。
- ・ヒーコンパネル意匠の変更などによる操作性・視認性の向上をはかりました。

(詳細はP 6 - 19参照)



WJ0112

▶MR2 スーパーライブサウンドシステム（全車にOPT）

・ラジオ・カセットプレーヤー

夜間の視認性・操作性を向上させる機能別照明を採用した新意匠としました。

・CDプレーヤー

ダイレクトCDプレーヤーを採用し新意匠としました。

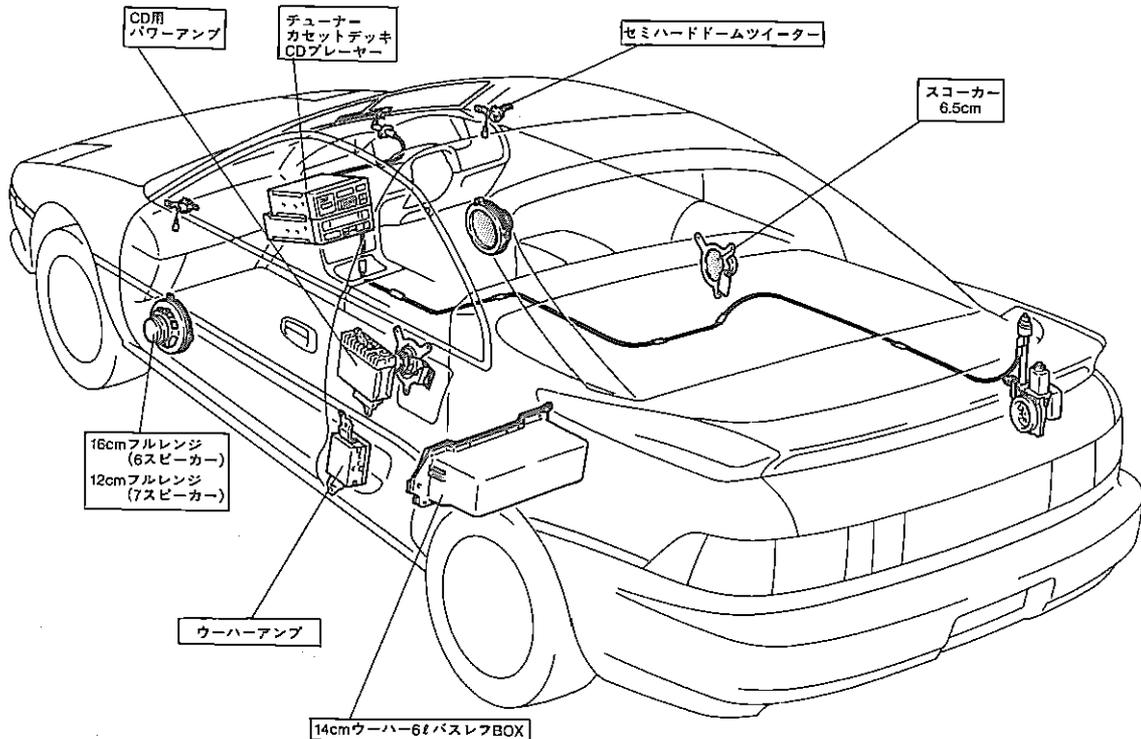
・スピーカーシステム

7スピーカーシステムなど大幅な音質の向上をはかりました。

・アンテナシステム

受信性能を向上させるFMダイバーシティアンテナシステムを採用しました。

(詳細はP 6 - 47参照)



WJ0153

1・8 基本性能

■主要諸元

▶各種寸法（ノーマルルーフGT）

外形寸法

		寸法 (mm)	従来との差*1
クーペ	全長	4170	+220
	全幅	1695	+30
	全高	1240	-10
ホイールベース		2400	+80
トレッド	前輪	1470	+30
	後輪	1450	+10

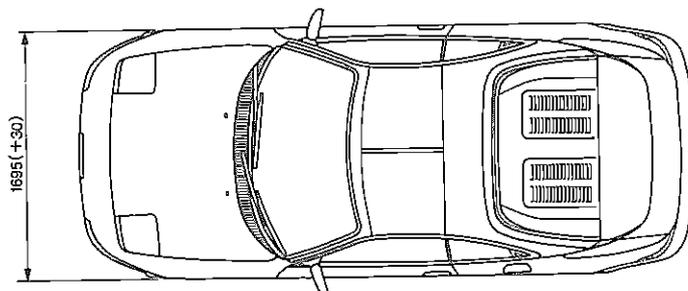
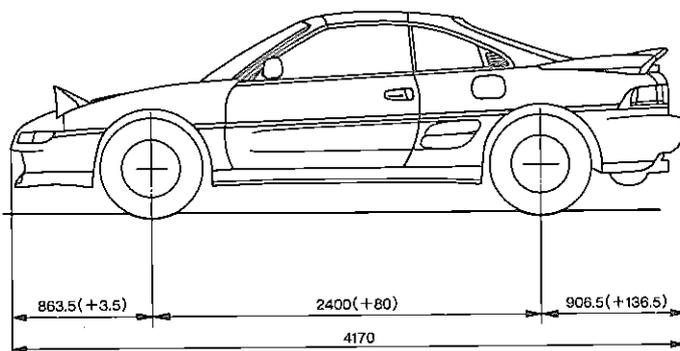
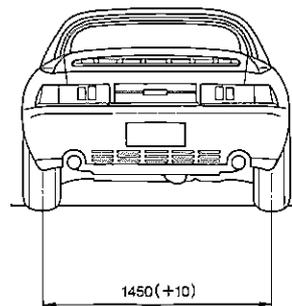
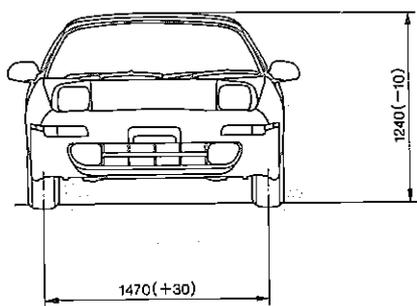
室内寸法

		寸法 (mm)	従来との差*1
クーペ	室内長	940	+10
	室内幅	1405	-35
	室内高	1030	-10

その他

	新型車 (ℓ)	従来型車 (ℓ)
フューエルタンク容量	55	41

*1 寸法および従来との差はGの数値をしめす。



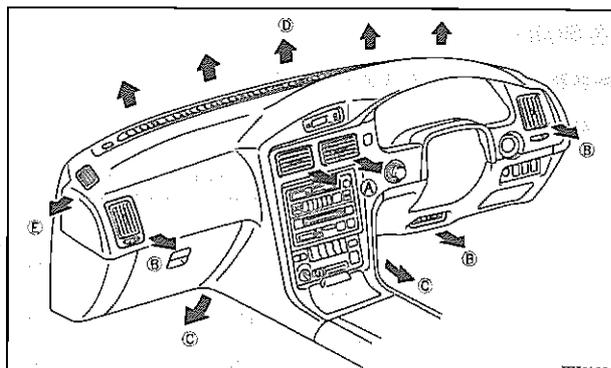
WD0219, WD0227, WD0220, WD0228

▶空調・換気性能の向上

ヒーター & クーラーは、全車エアコン関係部品を一新し、操作性の向上と風量をアップし冷暖房性能を大幅に向上させた静かな空調装備としました。

- 冷暖房性能のレベルアップ
- ヒーター、クーラー、デフロスター風量のレベルアップ
- マイコン制御オートエアコンの採用
- 可変容量コンプレッサーの採用
- エアコンアイドルアップ回転数制御の採用
- 換気流のスムーズな流れと各ルーバーの配置と構造の適正化

(1) 吹き出し位置と風量割合



WJ0122

モード	吹き出し口	センターレジスター (A)	サイドレジスター (B)	足元吹き出し (C)	フロントデフロスター (D)	サイドデフロスター (E)
(FACE)		○	○			
(BI-LEVEL)		○	○	○		
(FOOT)			○	○	○	○
(FOOT-DEF)			○	○	○	○
(DEF)			○		○	○

注) :○の大きさは風量割合を表わします。

(2) サイドレジスター

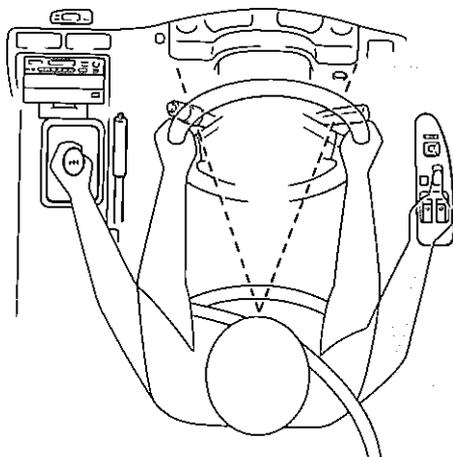
(FOOT), (FOOT-DEF), (DEF) モードでもサイドレジスターから温風を吹き出す構造として、ドアガラスの防曇性を向上しました。サイドレジスターにはシャット機構を設け、吹き出し量の調整が可能です。

WP0024

▶運転席まわりの使用性の向上

インパネをコックピットタイプにし、人間工学的な配慮をはかった各種スイッチ類およびシフトレバーなどのレイアウトと、収納スペースの拡大をはかり使用性と便利性を向上させました。

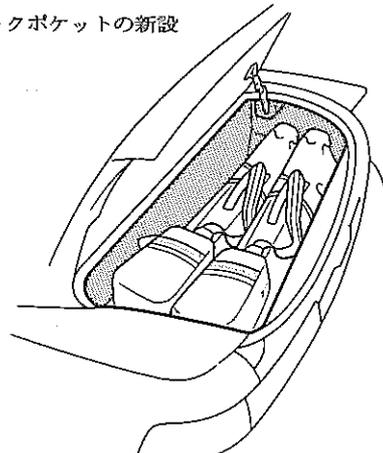
(1) リーチの改善



WD0221

(2) 収納スペースの拡大

- ① トランクルームの容量アップ
- ② ストレージボックスの新設
- ③ リヤコンソールの大型化
- ④ インパネ右端にメガネ入れ新設
- ⑤ ドアポケットの大型化
- ⑥ グラブボックスの大型化
- ⑦ シートバックポケットの新設



WD0222

1・9	新 装 備 一 覧
-----	-----------

	項 目	適 用 車 種	ペー ジ
エ ン ジ ン	ハイオク対応, ACIS-III, SUSマニホールド採用の高性能スポーツエンジン 3S-GEエンジン (LASRE α 3S-II TWINCAM 16 VALVE)	G, Gリミテッド	3-2
	ハイオク対応, ツインエントリーターボ採用のクラス最強レベル性能を持つイメーシリーダー エンジン 3S-GTEエンジン (LASRE α 3S-II TWINCAM 16 TURBO)	GT	3-41
	振動・騒音を低減する 円筒型複合エンジンマウンティング	3S-G搭載車	3-40
シ ャ シ ー	制御性能を一層向上させた急制動時の車両姿勢の安定性に加え操舵性も向上させる 4輪ABS	GT 他はM/TにOPT	2-14
	ブレーキの効き剛性感の向上をはかった フロント2ポートキャリパーブレーキ	GT	4-51
	コーナリング時のロールを抑え走行安定性を向上させる リヤスタビライザー	全 車	4-37
	重量配分に適したタイヤサイズの設定による操舵フィールが得られる 前後異サイズタイヤ	全 車	4-55
	車速に応じたパワーアシスト特性が得られるため, ナチュラルな操舵フィールが得られる EHPS (トヨタ初)	全車にOPT	2-2
	ドライバーに最適なドライブポジションを提供する チルト & テレスコピックステアリング	全 車	4-45 4-47
	力強い発進性能と加速の伸びを実現させた スーパーフロートルクコンバーター	A/T車	4-17
ボ デ ー 外 装	空力特性の向上を目的としたボデーと一体感のある3分割リヤスポイラー 大型3分割リヤスポイラー	Gリミテッド, GT	5-31
	ボデー外板と一体の樹脂製エアインレットをボデー両サイドに配置 新意匠エアインレット	全 車	5-24
	高性能スポーツを強調する 左右独立デュアルエキゾーストパイプ	全 車	3-15
	スポーティー感とトータルコーディネーションの創出をはかった カラードアハンドル	全 車	5-25
	空力の良さを感じさせる新意匠 可変式エアロミラー	全 車	5-82

	項 目	適 用 車 種	ペー ジ
ボ デ ー 内 装	大らかで一体感のあるインテリアと使い易く視認性の向上をはかった新意匠 インストルメントパネル	全 車	5-68
	乗員の体格や姿勢に合わせて、ショルダーアンカーの位置を5段階に調整可能にした アジャスタブルショルダーベルトアンカー	全 車	5-75
	シートベルト装着時の圧迫感を低減する テンションリデューサーシートベルト	全 車	5-75
	サンバイザー、マップランプを面一化し、見栄え向上をはかった フィーミングフレームタイプのルーフヘッドライニング	全 車	5-78
ボ デ ー エ レ キ	快適性および操作性のより一層の向上をはかる、オート機能を増大した マイコン制御オートエアコン	全 車	6-19
	大迫力サウンド、高いレベルの音質を確保した本格的オーディオシステム MR2スーパーライブサウンドシステム	全車にOPT	6-47
	FM放送をよりクリアに聞くため、サブアンテナとしてフロントウインドウ中央部に受信アン テナを設定した ダイバーシティーアンテナ	全車にOPT (7スピーカー装着車)	6-43
	キープレート内蔵の送信器によりドアのロック・アンロックを可能にした ワイヤレスドアロックリモートコントロール	GTにOPT	5-59
	ステアリングの操舵角に応じて左右に照射範囲を拡げ、旋回時の視認性の向上をはかった ステアリング連動フォグランプ (トヨタ初)	GTに標準 G, Gリミテッド にOPT	2-26
	ルーフ後端部に視認性のよいストップランプを装着 LEDスリットビームストップランプ	全 車	6-10
装 備	運転席後方フロアにフタ付きの物入れを設置した ストレージボックス	全 車	5-80
	インパネ・ダッシュ右下にメガネなど小物が入る物入れを設定 小物入れ	全 車	5-71